

* * * イ カ ナ ゴ 情 報 * * *

後志総合振興局 産業振興部水産課
後志地区水産技術普及指導所 岩内支所
道総研 中央水産試験場 資源管理部

1. 島牧・寿都海域の漁期前調査について

4月8日、4月15日に島牧沖で、4月17日に寿都沖でコウナゴ漁期前調査を行いましたので、調査結果の概略をお知らせいたします。図1に示した各海域の調査点において集魚灯をともしてコウナゴを集め、タモ網を用いて標本採集を行いました。第八喜久丸中山さん、東丸木村さん並びに島牧漁協、寿都町漁協のご協力をいただきました。調査にご協力いただいた方々にお礼申し上げます。

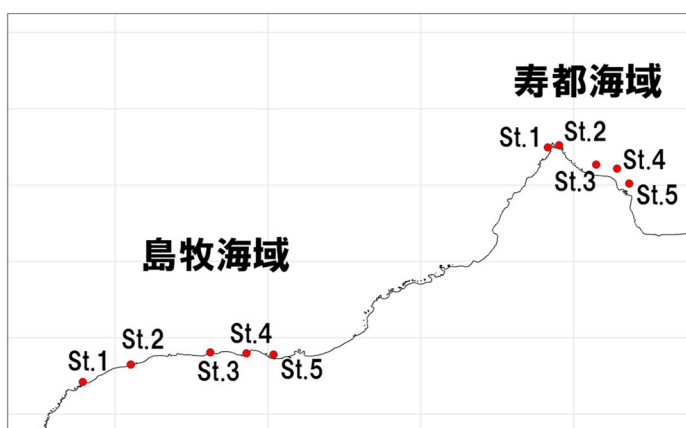


図1 コウナゴ漁期前調査海域

2. 標本採集調査結果について

島牧海域では、両調査日ともに St. 4（原歌沖）で 195～238 尾（4～5 g）の標本を採集しました（図 2）。それ以外の地点では採集尾数が 0 か漁獲があっても 1 尾から 15 尾とわずかでした。採集されたコウナゴの体長組成を見ると（図 3）、4 月 8 日は体長 12～13mm が多く（平均体長 12.2mm）、4 月 15 日には体長 15mm 前後（平均体長

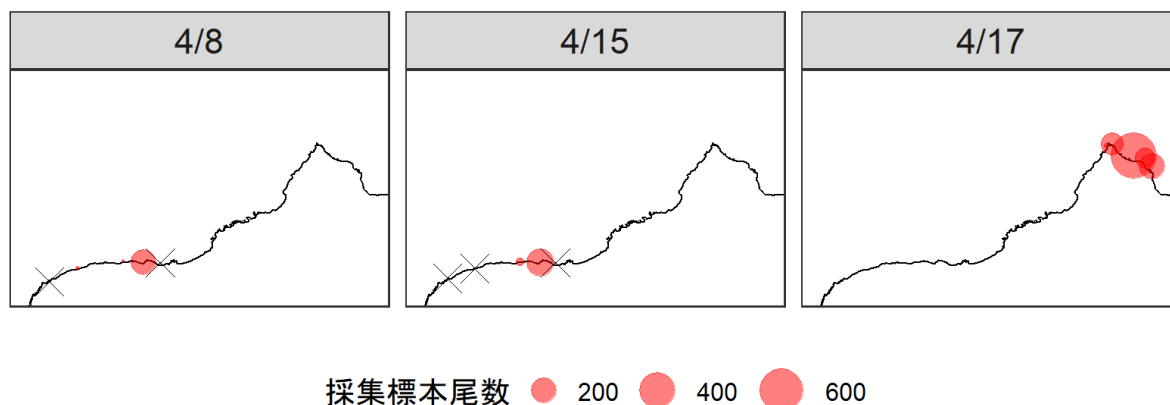


図2 コウナゴ漁期前調査結果（×は採集尾数が0）

16.0mm) に成長しました。また、体長20mmの群れも混じていました。

寿都海域では全点で標本を採集することができました。しかし、St.1(弁慶岬西)ではわずかに4尾でした。それ以外の点では123~666尾(3~15g)の標本を採集できました。一番多かったのはSt.3(滝ノ潤川沖)でした。採集された体長を見ると(図4)、体長14~15mmが多く(平均体長15.3mm)、4月15日の島牧海域とほぼ同じ組成でした。

調査海域の水温は(図5)、島牧海域では4月8日で8.1~9.7℃、4月15日には8.7~10.2℃になっていました。4月17日の寿都海域では弁慶岬周辺では8.8~9.6℃、寿都港側では8.5~9.0℃でした。このままの水温が続けば、漁期開始時期には、コウナゴの体長は21~23mm前後に成長すると考えられます。

また、コウナゴが漁獲された地点ではコウナゴと同じくらいの大きさの仔魚(ギンポの仲間)とイサダ(オキアミ)が多数分布していました。

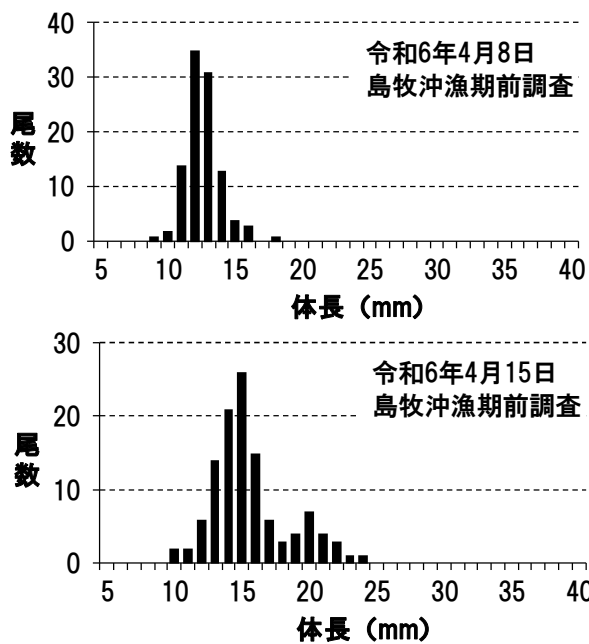


図3 コウナゴ体長組成(島牧海域)

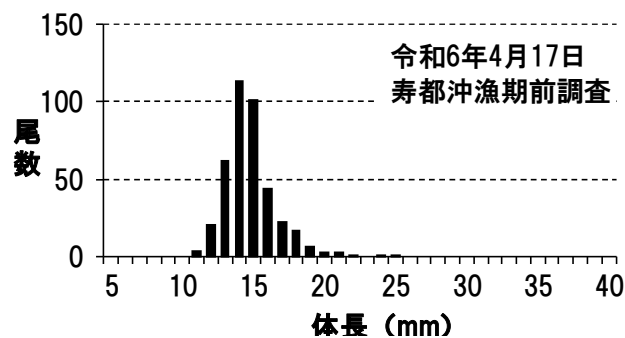


図4 コウナゴ体長組成(寿都海域)

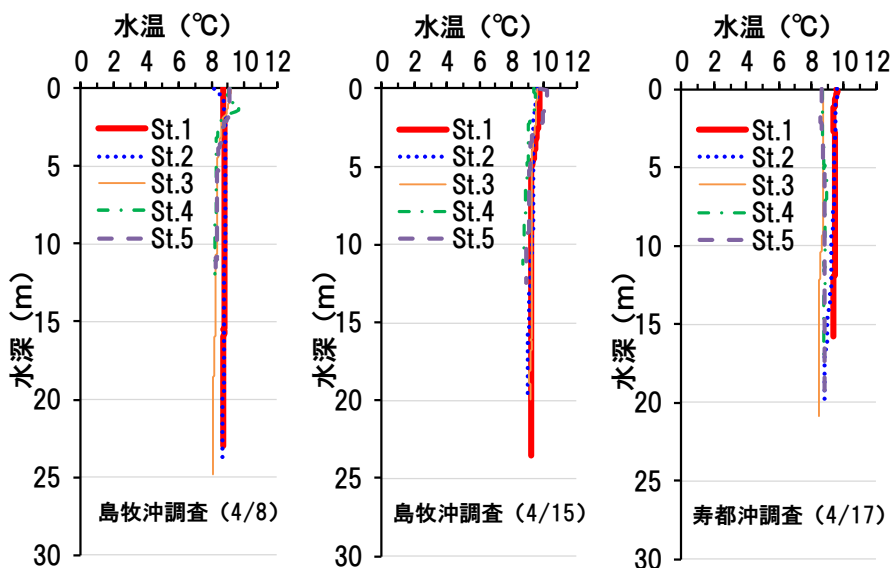


図5 調査海域の水温図

3. 過去の調査結果との比較について

過去に行った漁期前調査と今回の調査結果について比較しました。ただし、2017年は欠測、2021～2023年は調査を休止していたため、データはありません。

漁期前調査時の平均水温は、2013年から2020年で7.1から10.3℃でした(図6)。過去の期間の平均水温は8.8℃で、今年の調査時の水温は8.1から10.2℃なので平年並からやや高くなっていました。

過去の調査時の標本採集数と比較するために、採集標本重量を採集時間で割った値で規準化しました。これは、年によってコウナゴの密集状態が違い、資源の多い年は採集時間が短く、資源の少ない年は採集時間が長くなるためです。基準化した採集標本尾数と参考として、調査年の島牧～寿都の漁獲量を図7に示しました。この結果を見ると、今年の調査結果は過去と比べても低い値となっていました。また、漁期前調査での採集尾数が少ない年は漁獲量の少ない年が多くなっていました。

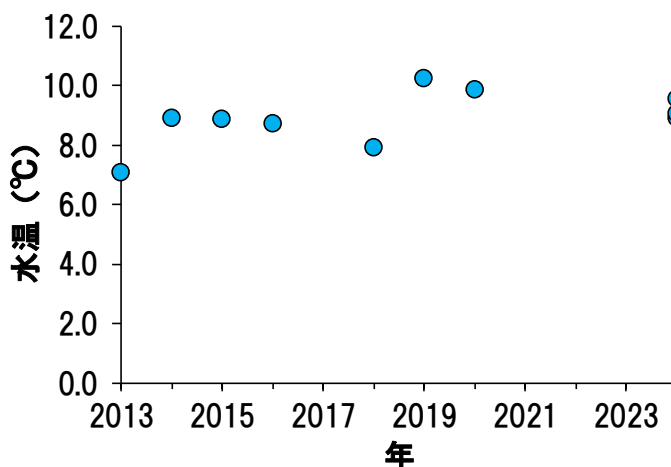


図6 漁期前調査平均水温の経年変化

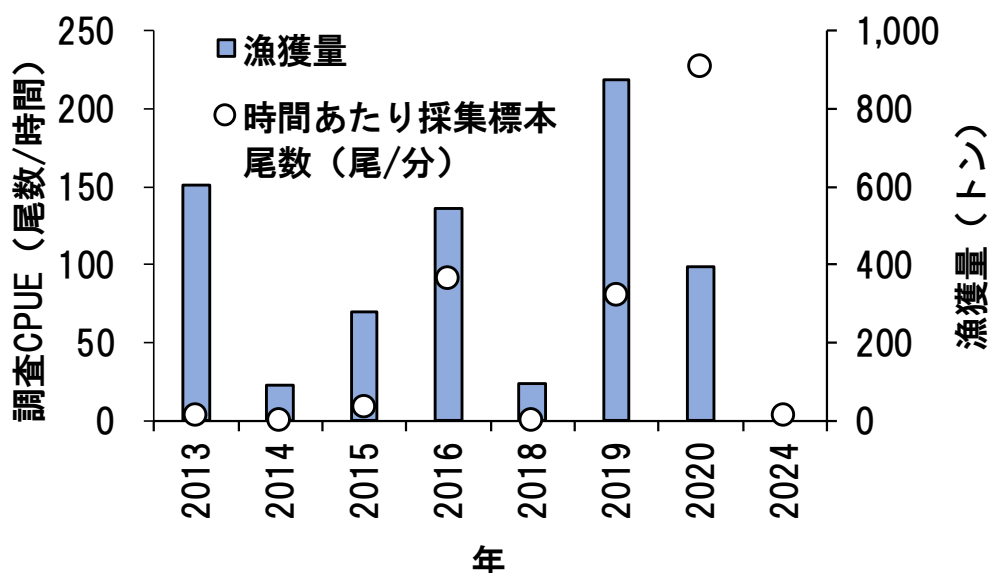


図7 漁期前調査標本採集結果と漁獲量の経年変化
(漁獲量: 島牧～寿都)